

会議録

会議の名称	令和元年度第2回川越市上下水道事業経営審議会
開催日時	令和元年8月21日(水) 午後2時00分 開会 ・ 午後3時40分 閉会
開催場所	ウェスタ川越2階 活動室3
議長(会長) 氏名 *敬称略	議長:青木 亮(会長)
出席者(委員) 氏名(人数) *敬称略	青木亮(会長)、佐野勝正(副会長) 川目武彦、今野英子、川口啓介、近藤芳宏、中原秀文、吉野郁恵、高橋剛、 福手勤、新井正司、鈴木美智子、真下茂、町田明美、横山三枝子、川村豊二、 小池均 の各委員(17名)
欠席者(委員) 氏名(人数) *敬称略	小倉 元司 委員(1名)
事務局職員 氏名(職名)	石井隆文(上下水道局長) 【財務課】 高木康行(参事)、馬橋洋(副主幹) 【給水サービス課】 吉田和博(課長) 【事業計画課】 桑原善行(上下水道局副局長)、駒井和久(副課長)、北原章弘(副主幹)、 平井治人(主査) 【水道課】 眞野和幸(課長) 【下水道課】 前島清孝(課長) 【上下水道管理センター】 堅木和美(所長) 【総務企画課】 近藤正広(上下水道局副局長)、福田英一(副課長)、米山隆(主幹) 高梨義久(主査)、高橋真紀(主任)、小林泰貴(主事)
傍聴人(人数)	なし
会議次第	別紙のとおり

配 布 資 料

(事前に配布した資料)

なし

(当日の配布資料)

○次第

議事の経過	
発言者	議題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
会長	<p>1 開会</p> <p>開会の挨拶（青木会長）</p> <p>*以降は青木会長が議長となり議事を進行。</p> <p>【傍聴人の確認】</p> <p>議長から傍聴人の有無について確認が行われ、事務局より「傍聴人なし」との報告がなされた。</p>
議長	<p>2 議事</p> <p>(1) 川越市上下水道事業経営戦略について</p> <p>それでは、「2 議事(1) 川越市上下水道事業経営戦略について」、事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>「川越市上下水道事業経営戦略（原案）」に基づき、第2章について事務局より説明。</p>
議長	<p>質疑に入る前に1点私の方から確認させていただきたいことがあります。先程20ページの図2-9で事業計画区域と行政区域が少しずれているという話がありました。川越市の中から石井地区と日高地区を除いて、鶴ヶ島市の一部が入ってくるということなのですが、今回のこの経営戦略を考える際には、鶴ヶ島市分については、川越市と同様の施策をそのまま適用するという前提でよろしいですね。</p>
事務局	<p>鶴ヶ島市分については、川越市の公共下水道の事業計画区域に入っておりますので、これを含めて考えていただく形になります。</p>
議長	<p>川越市に係る議論がそのまま鶴ヶ島市分に適用されるということですね。鶴ヶ島市分について特別意識する必要はないし、逆に石井地区と日高地区については事業計画区域に入っていないが、それについても考慮しなくてよいということでしょうか。</p>
事務局	<p>そのとおりです。</p>
議長	<p>分かりました。どうもありがとうございます。</p> <p>それでは2章について一通り説明をいただきましたので、御意見、御質問等をお願いします。</p>

事務局	<p>1点よろしいでしょうか。前回水道事業について説明をした際に、11ページのレーダーチャート左下の、オレンジ色の部分の「安全性」という表現について御指摘がありました。27ページについてもそれと同様に、「健全性」という表現に変更しようと考えております。</p>
議長	<p>分かりました。ではこの「安全性」の部分は、「健全性」に変わるということで御理解いただければと思います。ではいかがでしょうか。</p>
副会長	<p>事業の課題についての意見です。例えば、収益性は経常比率が高くよいなどと記載されていますが、国の基準の、実際の財政健全化比率などを見ると、やるべきことをやらなければよく見えてしまうように出来ている。施設の老朽化が課題になると言っていますが、更新を行うと比率が低くなっていくはず。そういう見方で、水道も下水道も、事業の課題を見ていかなければならないと思っています。収益性、効率性、安全性の比率だけを見るとよさそうに見えるけれど、やらなければならない宿題が沢山あるところをまず掴んで、それに対して収益性がよいのかどうかという捉え方をしないと、審議会の意味がありません。何も問題はないということになってしまうので。事業の課題については、水道も下水道も、もう一度きちんと把握すべきだと思います。</p>
議長	<p>副会長からの御意見について、もし説明があるようでしたらお願いします。</p>
事務局	<p>まさにおっしゃるとおりです。やはり施設の老朽化が進んでいますので、そういう部分を踏まえて、今後投資・財政計画を考えていきたいと思っています。次回以降に示す投資・財政計画には、そういったことを盛り込んだ形で皆さんに検討していただきたいと考えております。</p>
委員	<p>人員の関係で、素朴な疑問があります。資本勘定職員が平成21年度の32人から20人に減少したという話がありましたが、人員がこれだけ急激に減ったことで業務に支障が生じたり、職員に過剰な負担が生じたりしていないのでしょうか。また、これは地方公共団体の性質上仕方がないことかもしれませんが、時間外労働について、予算には毎年度、前年度と同じ14,125,000円が計上されている状況で、勤務状況について不思議に思ったものですから、御説明を簡単にいただければと思います。</p>
事務局	<p>資本勘定職員数が減少していることについてですが、下水道を拡張していく範囲が以前と比べ減ってきていることから、人員が足りているかどうかという問題はありますが、なんとかやっつけていけるという状況です。また、時間外労働の関係ですが、上下水道局は公営企業のため労働基準法の適用を受け</p>

	<p>ておりますので、残業時間の管理や組合との交渉についても適正に行っております。</p>
委員	<p>26ページの「これまでの主な経営健全化の取組」の中に企業債というものが出てきています。私は、企業債について全く分からないのですが、川越市の場合は、どのような企業にどのような形で募集をかけているのですか。もし差支えなければ、企業名を教えてくださいたいのですが。</p>
事務局	<p>株式会社であれば株券を発行することによって資金の調達が出来ますが、我々公営企業は株券を発行することが出来ません。したがって、国から借金をして資金を得るような形を取っております。これを企業債と言います。</p>
委員	<p>日々のお金の出し入れという面からすると、なんとなく日々安泰のような御説明をいただきましたが、片や施設の老朽化は待たなしでどんどん進んでいます。いずれ老朽化によって道路が陥没するとか、下水道であれば、汚い水がそのまま流れていってしまって、地盤汚染につながるとか、様々な影響が想定されます。技術的には、色々な補修方法や点検方法が開発されていますが、1番の問題は、それに対しての費用が確保できるかというところに尽きます。例えば、橋や、道路の舗装などのインフラは目に見えますので、一般の住民の方にも老朽化の状況がかなり認識されていると思うのですが、下水道は普段目に見えないところですし、汚いものという印象もあるし、流せばよいというような感覚の人が多いいと思います。</p> <p>上下水道局としては、今こういう問題があって、今のままの使用料金でいくと、いずれこのようなことが起こりますよというような注意喚起をもっとしないとイケないのではないかという気がしております。そういったことを頭の中に入れながら、報告の取りまとめをしていくと、問題を早く外に出すという意味でよいのかなと思いました。是非そのようなところをまたお考えいただければと思います。</p>
事務局	<p>確かにおっしゃるとおりです。第2章は現状とこれまでの経過を示していきまして、今後これを踏まえてどうするかというのは、次の投資・財政計画の方で考えていかなければならないと思っています。そのうえでまた皆さんに検討していただければと思っていますので、よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>34ページの効率性のところに、本市は有収率が70%前後で推移しているとあります。有収率の低下は不明水の混入が原因であると記載されていますが、これまでに対象区域を特定できたことがあるのかどうか、また、対策した実績はあるのか教えてくださいたいのですが。</p>
事務局	<p>川越市から埼玉県の流れ下水道に汚水を流して埼玉県の処理場で処理し</p>

	<p>てもらっているのですが、そこにメーターがついています。そのため、有収水量と実際に処理した汚水量の差が、エリアごとにある程度分かりますので、その差が大きい場所の調査をして、そこを重点的に対策しています。管更生と言いまして、既存の管の中に強化プラスチックやビニールなどで管を作るような方法で修繕を行っております。ただそれは、本当にピンポイントで行っているものでして、今後は計画的に行えるよう、先程お話ししたような管の流入量に加えて、マンホールポンプがどのような形で稼働して、どのくらいの量を吐き出しているのかという情報を基に、エリアの絞り込みの作業を行っている最中です。</p>
委員	<p>計画的に進めるということですが、いつまでにという目標は設定されているのですか。</p>
事務局	<p>水道ですと、上に吹いてきますので、どこで漏れているかというのがすぐ分かります。そこを直せば漏水が止まりますが、下水道ですと、じわじわと色々なところから流出するため、管を特定するのが非常に難しい状態です。一気に有収率を上げるのは難しいと思っています。ビジョンの中では、10年後に80%を目指すというような形で考えておりますが、出来れば目指したいというような希望的観測も含めて頑張っていこうと思っています。</p>
副会長	<p>目次には「第2章 事業の現状と課題」とありますが、現状は書いてあっても、課題はほとんど把握されていないですよね。現状に対して何が問題になっているのか、それぞれ課題はあるはずなのに、課題が書いていないのが1番残念です。若干書いてあるところはありますが。例えば、前回説明いただいた分になってしまいますが、5ページには施設利用率が65.6%、余裕をもった施設運営となっていますと記載されています。これも多分課題としてあるはずですが、65.6%の意味が書かれておらず、事実だけが書いてあります。はっきり言いますと、「事業の現状と課題」という表題なのだから、全部課題を意識した文章にしなければならないと思います。</p>
議長	<p>御意見が出ましたので、これを含めて手直しをしていただけたらと思います。ほかはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>19ページに事業の概要が記載されておりました、上から5行目に「未普及対策」と記載がありますが、この未普及対策というのはどのような内容なのかお示しいただきたいのですが。</p>
事務局	<p>公共下水道がまだ入っていないエリアへ拡張をしていくような事業でございます。</p>

委員	これは経営戦略ということで、また違った考え方で未普及対策というものが取り上げられていくのか分かりませんが、まだ普及していないという現状に対する分析や対応というのは特に記載されないのでしょうか。
事務局	未普及対策は、認可区域になっているところの整備を進める事業として、そこから先はまた別の次元の話になってきてしまうと思います。今後10年は認可区域の中を整備するという考え方の中で経営戦略は出来ていますが、そこからさらに整備を広げるとか、そういった考えはここには反映されておりません。
委員	下水道事業の年報などの資料には整備率の推移等が記載されていますが、未整備地域の方からは下水道が早く来ないのかという声が上がってきています。そういったことは経営戦略の中で対応はとられないのですか、やはり別次元の話なのでしょうか。
事務局	<p>先程もお話しましたが、基本的にはここを整備していきますということで認可区域を定めて整備を行っています。さらにそこから広げるか広げないかというのは、人口減少の問題ですとか、費用対効果の問題がございますので、それは別次元の問題として今後検討していかなければならないと認識してはいます。</p> <p>経営戦略は、実際に行っている事業や行うことが明確である事業を整理して、費用がどの程度かかるか、経営的に問題ないかということ判断しているものなので、あえてここで、どのくらいのエリアを広げますとか、このように拡張していきますとは記載していません。経営するうえでの支出ということで、費用として把握して整理をしていくというような形になっています。</p>
委員	課題の話が出ておりますので、未普及対策についても下水道事業の課題の1つに入ってくるのではと思いましたが、そのようにはならないのでしょうか。
事務局	昨年度上下水道ビジョンを策定した際にもこの点は議論があったのですが、これから拡張するとすれば、当然市街化調整区域の話になります。その場合には、どうしても費用対効果の話が出てまいりますので、生活排水の処理方法を浄化槽のエリアにするのか、農業集落排水にするのか、公共下水道にするのかという取扱いも含めて、今後具体的に検討していく必要があるとは認識しています。
委員	そもそもの話になってしまうかもしれませんが、未普及対策は大きな課題の1つになってくるのではないのでしょうか。外されているのかなという印

	<p>象も持ちますが、いかかでしょうか。</p> <p>少し疑問が残るといふか、経営戦略の中にも入ってくる課題ではないかと思ひますので、そのことは指摘をさせていただきたいと思ひます。</p>
事務局	<p>外しているわけではありませぬ。上下水道ビジョンの32ページを見ていただくと分かりますが、この部分に未普及対策の現状と課題を記載してありまして、今申し上げたように調整を取りながら取組んでいきます。また、上下水道ビジョンが10年更新のため、更新時点で今後どうしていくかという方針が決まれば、経営戦略の投資・財政計画の中に具体的な金額が出てくると思ひます。</p>
副会長	<p>委員さんが引用された部分は、ただ事実が並列して書いてあるだけで、課題という意味で整理されていません。本当であれば、未普及対策をどうすべきとか、そろそろ耐震対策を急ぐべきとか、するかしないかは別として、課題として整理しないとイケない。事実と課題はきちんと整理して、ただ、それを実際するかどうかというのは次の判断ではないかと思ひます。</p>
委員	<p>もし可能であれば、整備の状況等を記載していただければと思ひます。</p>
議長	<p>そうしましたら、今の御意見を基に、現状や未普及地域その他の状況については、どのような形で記述するかを含めて御検討いただければと思ひます。</p>
事務局	<p>今の部分ですが、前回お話ししたように、経営戦略には、上位計画として上下水道ビジョンがありまして、上下水道ビジョンの32ページに、現在の整備状況を記載してあります。具体的な数字はそちらに示してありますので、同じ事柄を2度書くよりも、ビジョンの方を見ていただきたいと思っております。</p>
副会長	<p>そうであれば、その部分は上下水道ビジョンを参考にしてほしい旨を記載すべきではないでしょうか。上下水道ビジョンを読んでいない人もいますので、誰が見ても分かるようにすべきです。</p>
委員	<p>経営戦略原案の4ページには、水道事業の現況ということで普及率99.9%というような記載がありますよね。下水道の整備状況を現状として示すことは可能ではないかと思ひますが。</p>
事務局	<p>普及率等の下水道の現況については、20ページに記載してあります。面積の項目を追記するかどうか、検討していきたくと思ひます。</p>

議長	ではそのような形で御検討いただいて、意見を反映していただければと思います。ほかはいかがでしょうか。
委員	1点確認をさせていただきたいのですが、11ページの料金回収率と、27ページの経費回収率についてです。それぞれ水道と下水道なので違いはあると思いますが、水道は料金回収率が類似団体の平均値よりも低い一方で、下水道の方は若干よいという状態を、どのように理解すればよいか教えていただければと思います。
事務局	水道の方は、高い水を安く売っているような形、売れば売るほど赤字になっていくような形です。下水道の方は、ある程度収益が上がるような形になっておりますので、料金回収率と、経費回収率はだいぶ違っております。
議長	下水道の方は、雨水の関係で公費負担が入っていますよね。水道は、総括原価方式で収支均衡の考え方でやっていますので、本来は費用に対して料金収入で賄うという形です。しかし、生活への影響がありますので、多少配慮している部分があり、必ずしも100%になっていないという理解でよろしいでしょうか。
事務局	水道はおっしゃるとおりですが、下水道はあくまでも污水处理費だけが対象となり、雨水の部分は考えておりません。ただ、先ほど申し上げたとおり、污水处理費のなかに公費負担分がありますので、それを除いた形で計算しております。
委員	29ページの業務指標の中の污水处理原価のところ、評価に「スケールメリットにより流域下水道の処理費用が安価なため」と書いてあります。流域下水道の処理費用が現在安価だとしても、それが変わる可能性があるという風に受け止めています。その場合は、ここの課題はまた変わってくるわけですね。そのあたりは、どのような動向を想定してらっしゃるのかを教えてくださいたいと思います。
事務局	埼玉県荒川右岸の処理場で処理していますので、今おっしゃったように、処理単価が上がればこの部分は悪くなりますし、またそれが使用料に影響してくると思っております。
委員	ではこの数値は、明らかではないというか、確実性はないと捉えてよろしいんですね。
事務局	現状においては、埼玉県は処理単価を上げないという話をしておりますので、数年はこのままでいくと思います。ですが、処理単価が上がった時点で、

	おっしゃるとおり処理費用も高くなりますので、変わっていくとは思っております。
議長	実際には埼玉県の方で、大規模な施設の更新があるだとか、特に単価が上がるような予定はないわけですよね。
事務局	埼玉県から流域全体の施設について報告を受けていますが、当面は上げる考えはないという話です。
副会長	埼玉県は、30年間で6,000億円くらいかけて、浄水場の更新と管の更新を行っていくと伺っています。荒川右岸の流域下水道は川越市だけでやっているわけではないので、流域の人口が減っていけば、川越市の人口は変わらなくても単位当たりの処理費が上がってきてしまうんですね。そういう不確定性はございます。設備投資以外にも、こういった他の要素が色々あるので、川越市だけ見ても、ちょっと分からない面があります。例えば、県内で北の方の人口が減ったとしても、逆に南の方が増えれば影響がない場合もあります。それから、1番大きいのは、水の使用量が減っていることです。当面ということなので、5年くらいは値上げしないのではないかと思います。それ以降は分からないのではないかと思います。
事務局	今副会長がおっしゃったように、当分は大丈夫かと思いますが、流域下水道の処理単価は、荒川右岸、荒川左岸、県北等で全く金額が違います。荒川右岸は非常に安いです。これを県内で統一しようという意見も出ていまして、統一しますと、金額が大幅に変わってくるような可能性もあると思うんですね。ただ現状は、ここ数年ぐらいいは変える予定はないということなので、このままいくのではないかと考えております。
副会長	かなり違いますよね。1番高いところと安いところで。
議長	ほかはいかがですか。
委員	合流式と分流式があると思うのですが、大体旧市街地では合流式で、そのほかのところは分流式になっていますよね。管の更新のときに、合流式を分流式に変えるようなお考えはあるのでしょうか。
事務局	基本的には現状のまま、合流式は合流式、分流式は分流式としてやっていく予定でおります。どうしても雨水が溜まってしまおうとか、そういった場所については今後考えていく必要があるとは思っておりますけれども、原則は変えないと認識していただければと思います。

委員	今、雨水と汚水の話が出ましたが、この合流式ですと雨水も汚水も一緒に滝ノ下の方で一時的に処理されるわけですね。やはり分流式の方が費用はかからないのでしょうか。
事務局	分流式になれば、雨水は処理する必要がございませんので、処理費はかかりません。合流式ですと雨水も汚水と一緒に流れて行きますので、処理費用の対象となっているような状況でございます。
委員	不明水というものがありますが、合流式の場合は、不明水は入っていないということでしょうか。
事務局	雨が降っていないときに地下水が浸入してくると、処理費用がかかってしまいますので、不明水になってしまいます。
委員	そうしますと、なかなかこれを分けることは難しいのでしょうか。
事務局	本来ですと、何にも無いところであれば分けられる可能性もあるのですが、道路の中にはガスですとか水道ですとか、あるいは場所によっては電気が入ってしまっていて、下水道管を分けて入れられるだけのスペースがないことと、下水道は当然皆さん普段使われていますので、もしやるとなると、今の下水道管を生かしながらも1本別に入れるような形になると思います。そういうことを考えますと、正直に申し上げて厳しいのではないかというのが、今我々が持っている考え方です。
委員	課題というお話が出ておりますけれども、27ページのレーダーチャートで1番問題になっているのは、管きよの老朽化率が40.61、有収率の方が39.05、この有収率の方は他市と比べると10ポイントも違うということです。不明水が多いということで。寺尾の内水の時も、1箇月経ってもずっときれいな水が出ていて、処理が大変だったというお話でした。どこから入ってくるのかというのを探るのは大変なことですが、ある低い土地でトイレが使えないという話があって、水がどういう風に流れているのか市の方で調べていただきましたら、県道の水が入っているということで、市の方に入らないように手続していただきました。あとは敷地内処理がうまくいっていないようなところも、現地を見ていただいて、本当に根気のいる大変な作業だと思うんですけれども、これだけ有収率が低くなっていますので、時間と費用が掛かるとは思いますが、是非よろしくお願ひしたいと思ひます。
事務局	今おっしゃったとおり、不明水の原因には地下水や雨水が入ってくることもありますし、それと一般的によく言われるのは、誤接続というものがござ

	<p>います。例えば汚水の管に宅地の雨水管がつながってしまっている事例があるようで、確認のうえでもお願いもしているところです。去年の審議会の中でも御指摘いただきましたが、なかなか強制的に雨水をつながないでくださいという手法があまり無いものですから、その点については、住民の方、使用者の方のモラルに頼って、基本的には雨水はつながないでくださいというお願いをしています。それとともに、ほかに我々が出来ることとしては、老朽化している管を更新していく中で、既に入ってきてしまっている不明水を止めていくことや、あとはテレビカメラを使う方法が中心にはなりますが、どこに不明水が多いのかというのを集中的に突き止めていって、そこを重点的に対策して、有収率の向上に努めていきたいと考えております。</p>
<p>議長</p>	<p>ほかはいかがでしょうか。よろしければ、まだ3章がありますので、そちらへ入りたいと思いますけれども。</p> <p>(意見・質問等なし)</p> <p>では事務局から「第3章 将来の事業環境」について説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>「川越市上下水道事業経営戦略（原案）」に基づき、第3章について事務局より説明。</p>
<p>議長</p>	<p>説明ありがとうございます。質疑応答の前に1点お尋ねします。人口ですとか、水需要の予測を基に収入を予測していただいているのですが、水道、下水道ともに、収入に関しては、現行の料金水準を基に計算しているということですね。</p>
<p>事務局</p>	<p>そのとおりです。</p>
<p>議長</p>	<p>では、簡単に言うと、水需要に現在の料金水準を掛けるとこのくらいの収入ですという形になりますので、その前提が変われば当然答えも変わってくるのですが、ひとまず今のところは現行の料金ということでお考えいただければと思います。</p> <p>そうしましたら、御意見、御質問等はいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>先程の私の質問と関連するのですが、人口予測や水需要の予測、料金収入の予測ということで、入ってくる方はこれで分かりますが、出ていく方はどのように考えたらよいのでしょうか。また、新たに章が加筆されるのでしょうか。</p>

事務局	<p>投資の関係は、5章以降に投資・財政計画として出ていく方も明記しますので、そちらの方で検討していただくような形になっております。</p>
委員	<p>水道、下水道ともに組織の見直しのところについては同じ表現になっていますが、これは今後、最終的には何か書き加えていく予定があるのでしょうか。また、民間委託の導入について、川越市の上下水道局ではどのように検討しているのか、もし近隣での民間委託の状況も把握されていることがあれば、お示しいただければと思います。</p>
事務局	<p>組織の見直しの関係ですが、職員の関係は今後事業をどのように進めるかによって職員を増やす必要性も出てくると思いますので、それはまた投資・財政計画の方で考えたうえで検討していきたいと思っております。それから民間委託の部分ですが、川越市としては、水道事業全体を民間委託するのではなく、窓口業務や料金収入など部分的に包括業務委託を行っています。また、施設の維持管理等についても、可能なものは民間委託していこうということで検討しております。他市町村についても同じような状況でして、出来るものからやっっていこうということで検討しております。</p>
副会長	<p>予測のグラフを見ていただくと、水道は人口と料金収入とが同じ比率で減っていく一方で、下水道は人口よりも使用料収入の減り幅が1%くらい大きくなっています。この差はなぜ生じたか教えていただきたいのですが。</p>
事務局	<p>水道の人口は2%減、有収水量と料金収入は2.6%減の予測となっております。下水道の人口は0.7%減、有収水量と使用料収入は1.7%減の予測となっておりますので、人口ではなく、どちらも有収水量と収入が同一の減り幅となっております。</p> <p>また、水道の方はこれ以上増える見込みがありませんが、下水道は現在も拡張しておりますので、使用する方がいくらか増えていくと考えられることから、このような形になっています。</p>
議長	<p>下水道の方は、多少エリアが増えることと、今エリア内をつないでいない方がつなぐようになるという前提ですよね。そのため、水道と比べると下水道の方が減りが抑えられているという形ですね。</p>
委員	<p>目次に4章以降がないので確認したいのですが、今後の10月8日以降の会議の中で、今後の投資に係る費用と収入とのバランスというようなことが出てきて、そこで一応確認ができるという理解でよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>そのとおりです。前回お配りした「経営戦略の概要」という資料の6ページに、第3回で「経営の基本方針」と「投資・財政計画」、第5回で「投資・</p>

	<p>財政計画」と「事後検証」と記載しておりますので御確認下さい。この中で、具体的な数字が出てまいります。</p>
議長	<p>この後投資の話が出てくると、場合によっては収入との関係で均衡させなければならないので、それを4章、5章に書いていくのか、それに引っ張られて3章の前提が少し変わるのかは、おそらく事務局に1回検討いただくことになるとと思いますが、今回のところは、現在の人口ですとか利用料を基に、現状の料金だとかこうなりますという形をお示しいただいているということです。</p>
副会長	<p>もう一つ質問があります。今グラフにあるのは人口だけですが、企業なども水を使いますよね。そういったものはどのように見ているのでしょうか。会社も水の使用量がだんだん減っていくのではないかと思うので、人口だけで見ると見誤るような気がするのですが。</p>
事務局	<p>口径25mmの一部とそれ以上の口径を事業系と想定しているのですが、過去の統計を取ると、件数は増えていますが、使用水量は減っています。そのあたりを踏まえて反映していきたいと思っております。</p>
副会長	<p>今の御説明でいくと、人口だけでなく事業系の影響なども入れなくてよいのでしょうか。</p>
事務局	<p>事業系は過去の統計を見てはいますが、事業者数は増えているのに使用量は減っているという、どこに着地点を設けるのか難しい状態です。今後検討しまして、次回示すことが出来るようにします。</p>
議長	<p>事業系の方が、ある意味シビアに、水道料金と節水装置の費用ですとか、そういうもののバランスを見ながらやっていると思いますので、過去のデータを見たりヒアリング等したりして、分かる範囲で確認させていただければと思います。</p> <p>ほかはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>(意見・質問等なし)</p> <p>御意見、御質問等がないようですので、「3 その他」について、事務局よりお願いいたします。</p>
事務局	<p>3 その他</p> <p>*今後のスケジュール等について</p> <p>第3回の会議日程は、10月8日(火)午後2時から川越市北公民館会議</p>

	<p>室で予定しています。また、第4回につきましては、八ッ場ダムへの行政視察を予定しております。</p>
議長	<p>それでは、これをもちまして議長の職を解かせていただきます。御協力ありがとうございました。</p>
事務局	<p>閉会の言葉を佐野副会長よりお願いします。</p>
副会長	<p>閉会の言葉（佐野副会長）</p>
	<p>4 閉会</p>